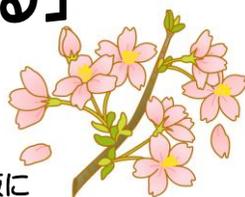




保健室だより

大阪府立茨木西高等学校 保健室 2015・4

「日本に住む人々には 真に高貴な忍耐力と克己心がある」



表題の言葉は、**4年前の東北大地震**の直後、アメリカのニューヨークタイムズ電子版に記載された言葉です。



みなさんも知っているように2011年3月11日に発生した地震と津波は、東北と北関東地方に**大きな被害**をもたらしました。

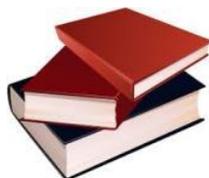
その後4年の月日が流れましたが、今も多くの人が震災前の日常を取戻せずに苦しんでいます。また、福島原子力発電所事故収束への道のりは、さらに厳しく、いまだに**多くの人々が知恵と力を出し合って大きな困難と戦い**続けています。

震災直後、募金や支援物資など、たくさんの**温かい思いが形になり**、現地に届けられました。そして今も募金や、ボランティア活動は継続して求められており、必要なことです。



でも、それらとは別に、**これからの私たちがしなければならないこと**を、当時、多くの国々から贈られた「**日本の人々に対する賞賛と励ましの言葉**」が教えてくれています。

何か大きな出来事があったとき、**平常心を失わない**ていることの難しさを、私たちはこの災害を通して改めて痛感しました。



人は学んだ**知識を知恵に変えて**生きる方法を得ます。**正しい知識**があれば、あふれる情報の中から**正しい道を選び出す**ことができます。

そして知識と共に身に付けた**感性は、私たちに生きる力**を与えてくれます。

人はパンのみでは生きていけません。難しい状況におかれてなお、人々を復旧、復興の活動に駆り立てているのは、**正義感**であったり、**責任感**であったり、**道徳心**であったり、**思いやり**であったり、**今日まで人が人として当たり前**に身に付けてきた感性によるものです。

震災後4年を経て、今、**私たちにできること**・・・それは**当り前の生活をちゃんと当たり前にする**ということです。**高校生活で学ぶべきことをしっかり学ぶ**ということです。

この高校生活で身に付けた知識や感性が、いつの日かきっと**あなたを守り、あなたの大切な人を守る力**になることを信じています。



改めて入学、進級おめでとう! **学び豊かな1年**でありますように・・・

今後の健康診断の予定

4月15日(水)	内科検診	1・2年
21日(火)	身体計測、歯科検診	全学年
22日(水)	内科検診	2・3年
23日(木)	尿検査(一次)	
24日(金)		
5月15日(金)	尿検査(二次)	
5月26日(火)	心臓2次検診(対象者のみ)	
5月28日(木)	尿検査(二次)	
7月8日(水)	夏期臨時検診	



独立行政法人日本スポーツ振興センターの手続きについて

下記のような場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターからの医療給付の対象になりますので、保健室まで書類を取りに来てください。



☆給付が受けられるのは…

- ・授業中、休憩中、部活動中、学校行事中のけが等
- ・通常の通学経路、方法による登下校中のけが等



☆こんな場合は給付されません。

- ・医療費の合計が5000円以下(病院の窓口支払いが1500円以下)の場合
- ・保険診療以外で治療を受けた場合(交通事故等で賠償請求の対象となる場合)

※例外もありますので、給付対象かわからない場合には保健室まで来てください。

西高の保健室ってどんなところ?

保健室

ここ茨木西高校の保健室には、養護教諭が二人います。**平田と下村**といいます。どうぞよろしくお願いします。



保健室は、ケガや体調不良時の救急処置はもちろん、**ちょっと気分が落ち込んだ時や、たくさんの人の中にいるのがつらくなった時、イライラした心や波立つ思いをコントロールできなくなった時、などに自分自身をクールダウン**させる場として利用することもできます。



話したい**思いがある**ときは、**話してください。**

何も言いたくないときは、**黙っていてもかまいません。**

どうしていいのかわからなかったり判断に迷うことがあったら、そばにいる**おとなの意見や考え**を聞いてみるのも一つ方法です。体がつらい時も心がつらい時も、それぞれの**一番いい道**を、**一緒に探せたらいい**ですね。

(すぐには答が見つからない時も多いのですけれどね・・・)

